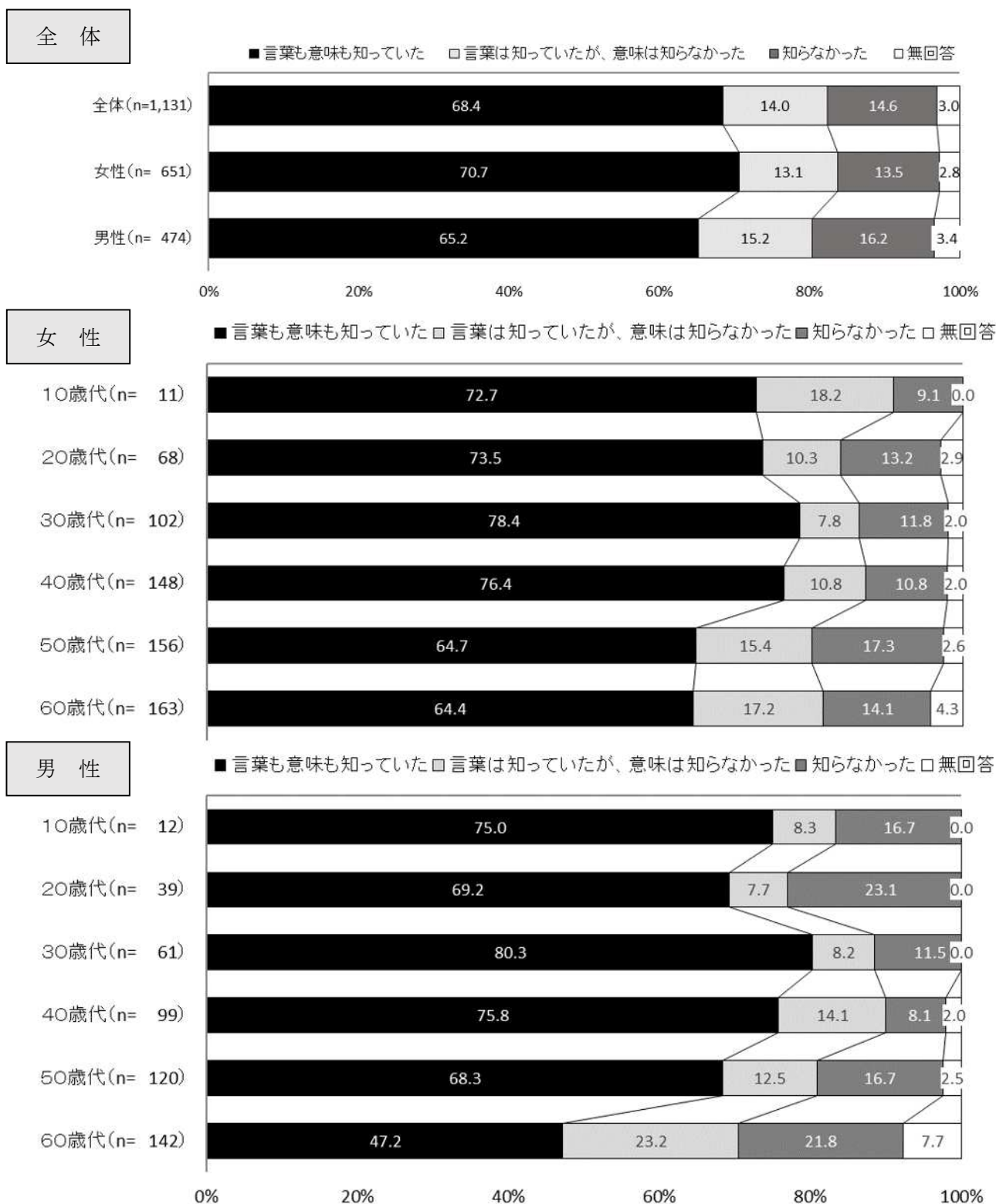


5 セクシュアルマイノリティ（LGBT等）について

問13 あなたは、セクシュアルマイノリティ（LGBT等）という言葉を知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

セクシュアルマイノリティ（LGBT等）という言葉については、「言葉も意味も知っていた」が68.4%でした。

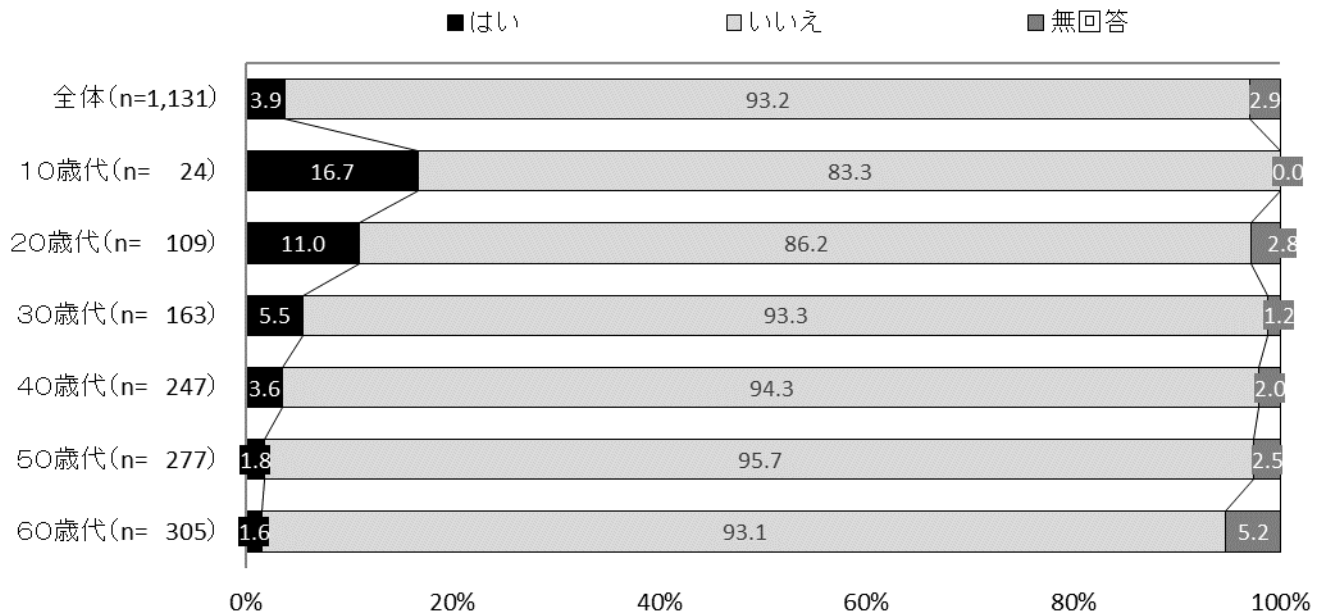
性・年代別にみると、「言葉も意味も知っていた」と回答した割合は女性・男性ともに30歳代が8割前後と最も高くなっていますが、40歳代から60歳代にかけて徐々に低くなっています。



問 1 4 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向（同性愛など）に悩んだことはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

今までに自分の身体の性、心の性または性的指向（同性愛など）に悩んだことがあるかについては、「はい」と回答した割合は3.9%でした。

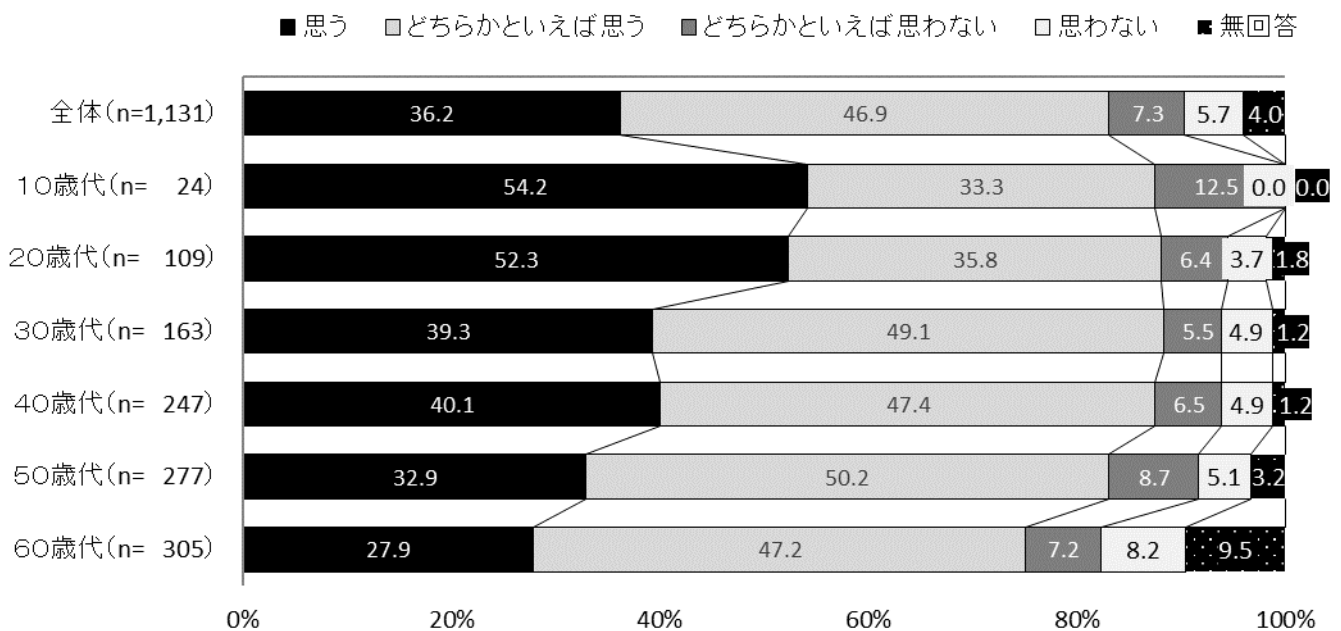
年代別にみると、「はい」と回答した割合は10歳代が16.7%と最も高く、年代が上がるにつれて徐々に低くなっています。



問 15 セクシュアルマイノリティ（LGBT 等）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

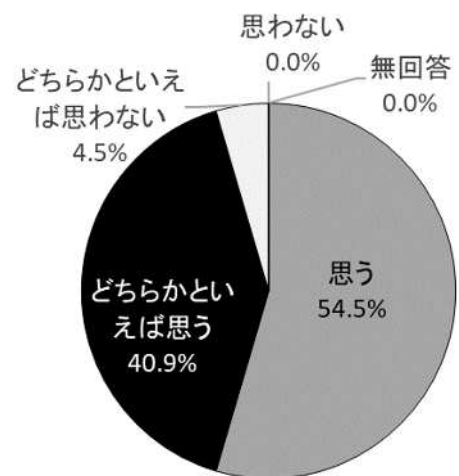
セクシュアルマイノリティ（LGBT 等）の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思うかについては、「どちらかといえば思う」が 46.9%と最も高く、次いで「思う」が 36.2%となっており、合わせると8割を超えています。

年代別にみると、「思う」と回答した人の割合は10歳代の54.2%が最も高く、年代が上がるにつれて低くなっていますが、「どちらかといえば思う」と合わせると、60歳代を除くすべての年代で8割を超えています。



【問 14 で「悩んだことがある」と回答した人の回答結果】

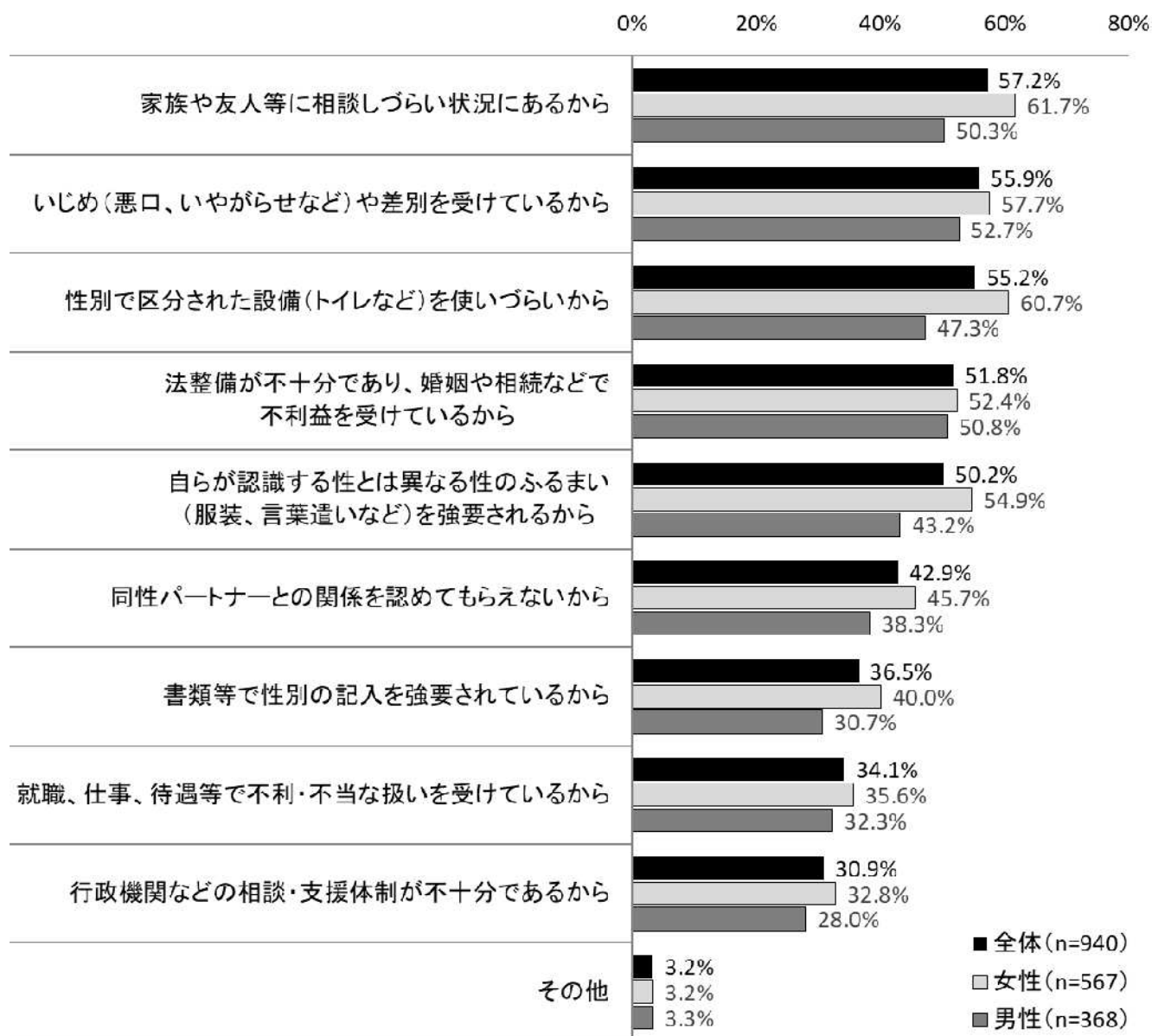
問 14 で「悩んだことがある」と回答した人は「思う」が 54.5%、「どちらかといえば思う」が 40.9%となっており、合わせると9割を超えています。



全体 (n = 44)

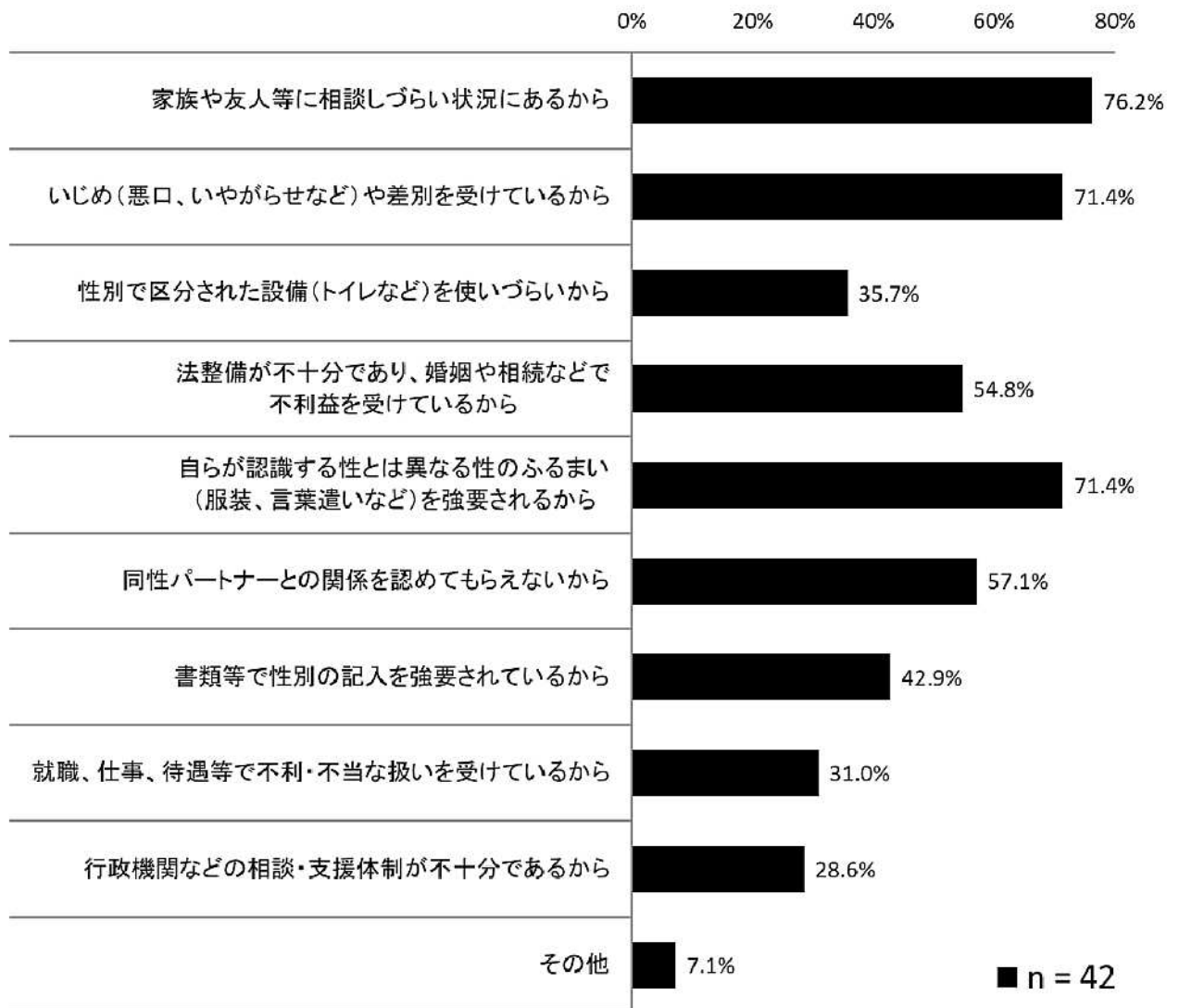
**問16 問15で、「1 思う」「2 どちらかと言えば思う」と回答した方にお聞きします。
それは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。**

問15で、「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した理由については、「家族や友人等に相談しづらい状況にあるから」が57.2%と最も高く、次いで「いじめ（悪口、いやがらせなど）や差別を受けているから」が55.9%となっています。「その他」としては、「認識が浸透していない」という回答がありました。



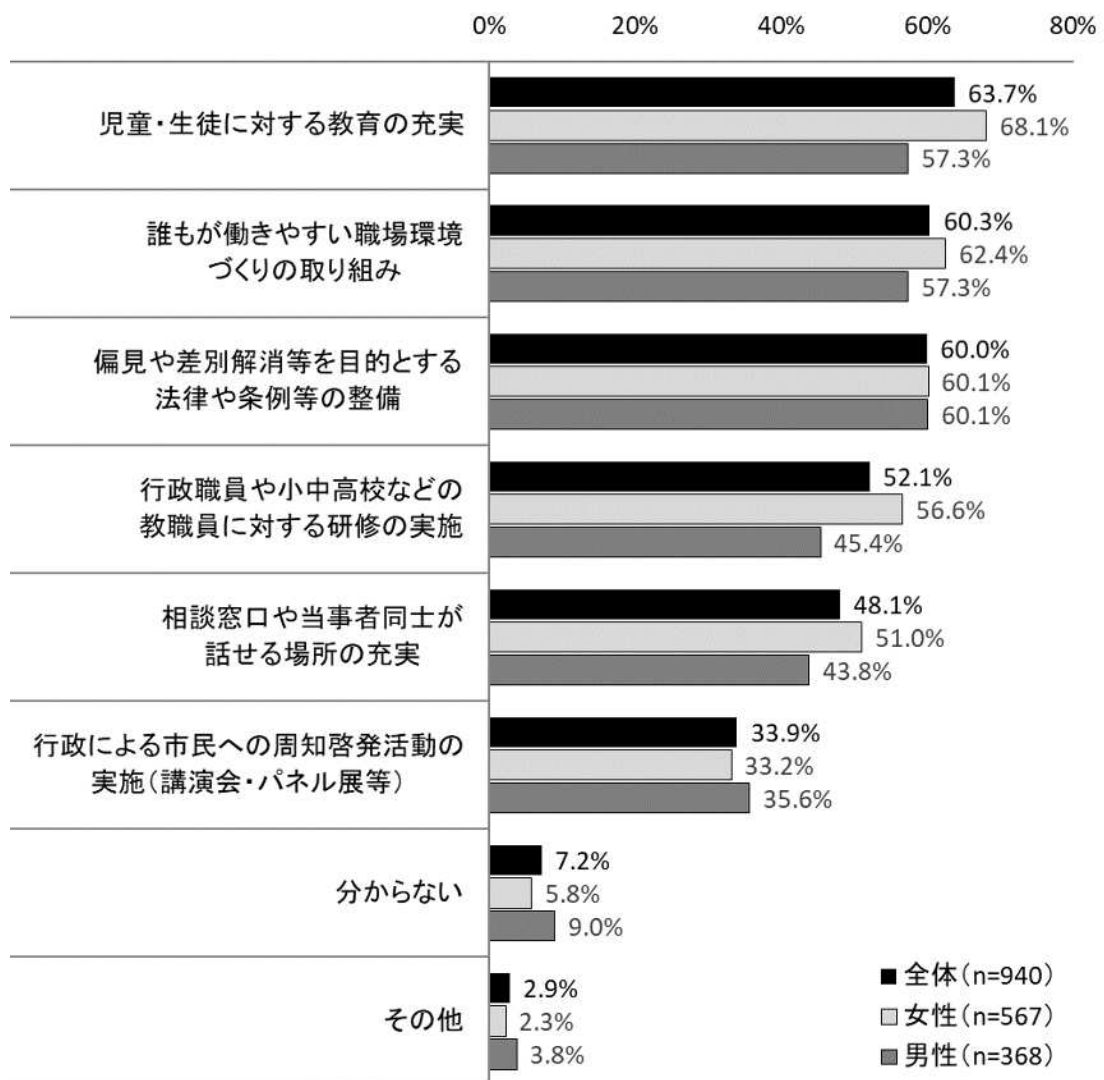
【問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人の回答結果】

問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人は、「家族や友人等に相談しづらい状況にあるから」が 76.2%と最も高く、次いで、「いじめ（悪口、いやがらせなど）や差別を受けているから」及び「自らが認識する性とは異なる性のふるまい（服装、言葉遣いなど）を強要されるから」が 71.4%となっています。



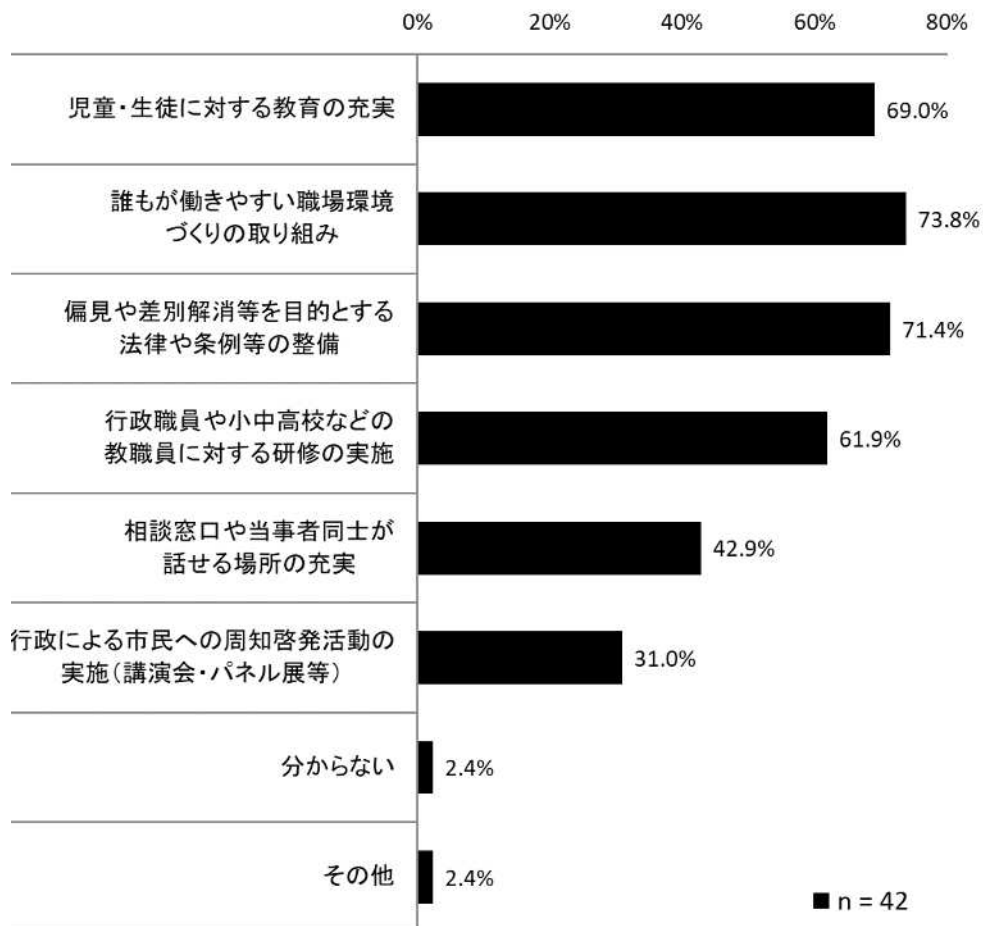
問17 あなたは、セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々にとって、偏見や差別をなくし生活しやすい社会を実現するために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

セクシュアルマイノリティ（LGBT等）の方々にとって、偏見や差別をなくし生活しやすい社会を実現するために、どのような対策が必要だと思うかについては、「児童・生徒に対する教育の充実」が63.7%と最も高く、次いで「誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み」が60.3%となっています。「その他」としては、「LGBTを題材としたドラマや映画が増えれば、自然と受け入れてくれる人や差別などが無くなると思う」という回答がありました。



【問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人の回答結果】

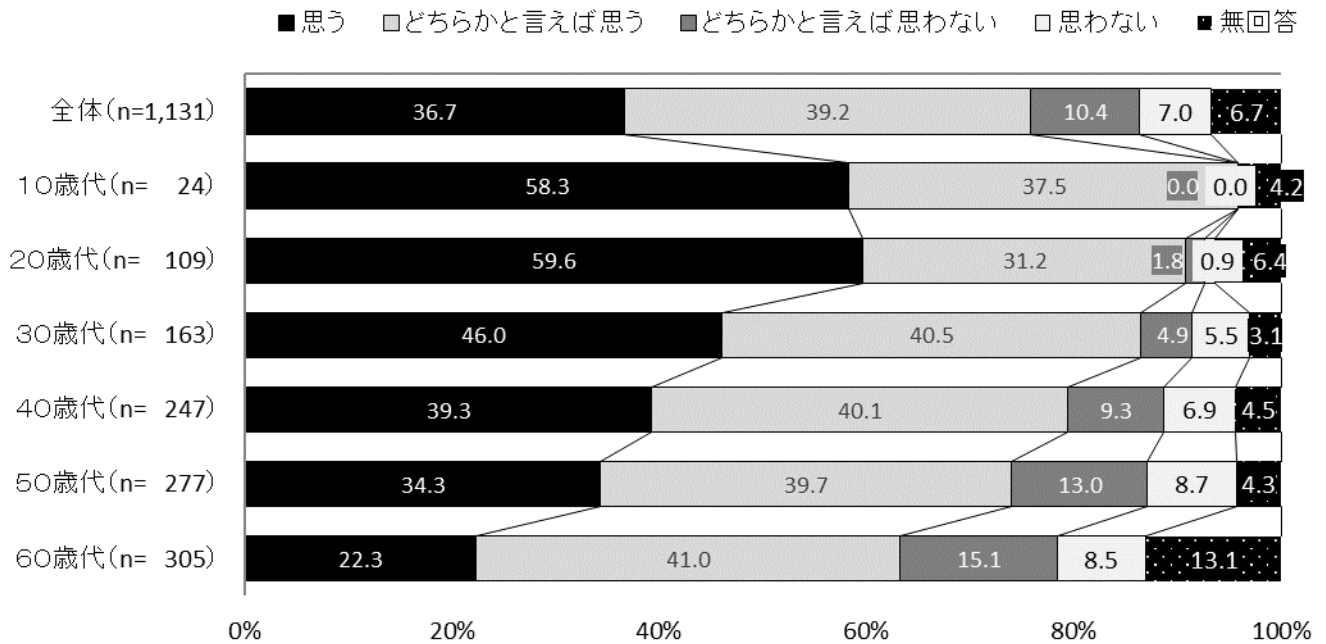
問 14 で「悩んだことがある」と回答し、かつ問 15 で「生活しづらいと思う」と回答した人は、「誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み」が 73.8%と最も高く、次いで、「偏見や差別解消等を目的とする、法律や条例等の整備」が 71.4%となっています。



問 18 現在、「同性パートナーシップ制度」を制定している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

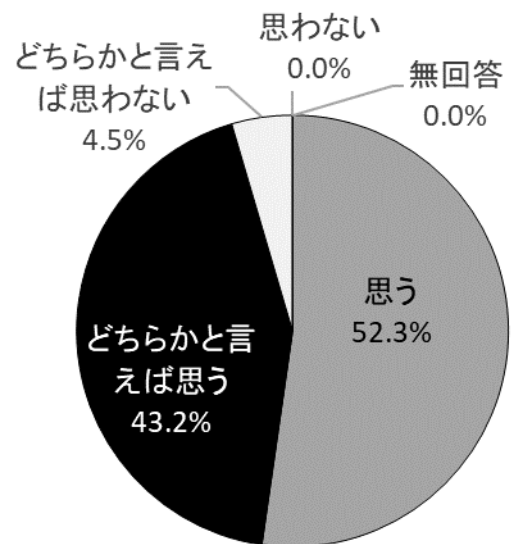
「同性パートナーシップ制度」が必要だと思うかについては、「どちらかと言えば思う」が39.2%と最も高く、次いで「思う」が36.7%となっており、肯定的な意見は75.9%となっています。

年代別にみると、肯定的な意見は、10歳代が95.8%と最も高く、年代が上がるにつれて徐々に低くなっていますが、最も低い60歳代でも6割を超えています。



【問 14 で「悩んだことがある」と回答した人の回答結果】

問 14 で「悩んだことがある」と回答した人は「思う」が52.3%、「どちらかといえば思う」が43.2%となっており、肯定的な意見は9割を超えています。



全体 (n = 44)

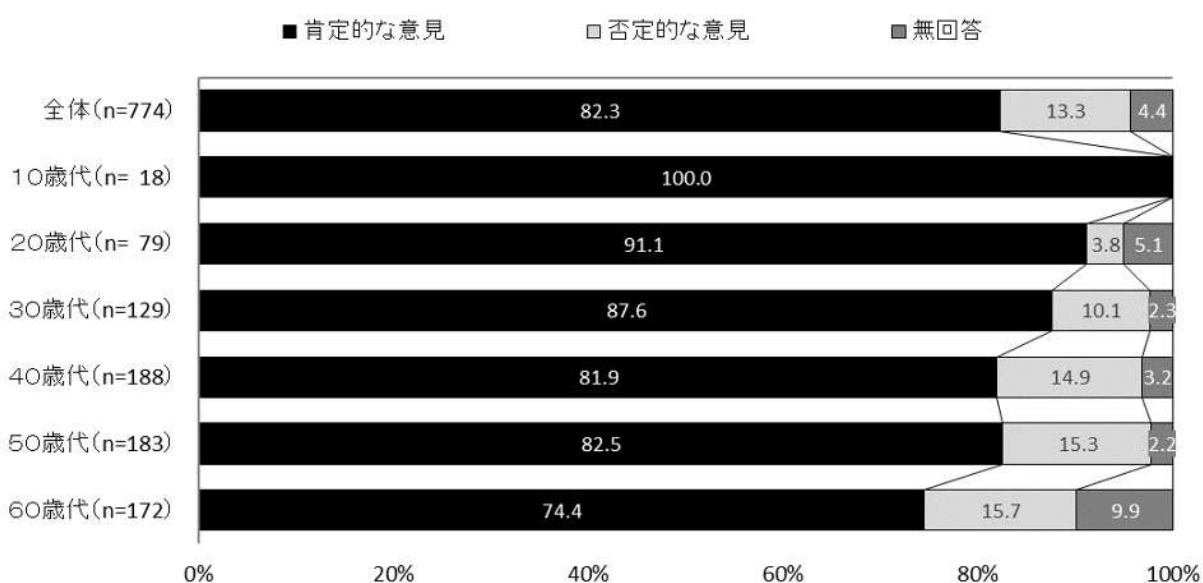
【問 13 における「セクシュアルマイノリティ（LGBT 等）」という言葉の認知と「パートナーシップ制度導入」に関する意見の関係】

問 13 で「言葉も意味も知っていた」と回答した人は、パートナーシップ制度導入に関して肯定的な意見が 82.3%、「思わない」、「どちらかといえば思わない」の否定的な意見が 13.3%となっており、すべての年代で肯定的な意見が 7 割を超えています。

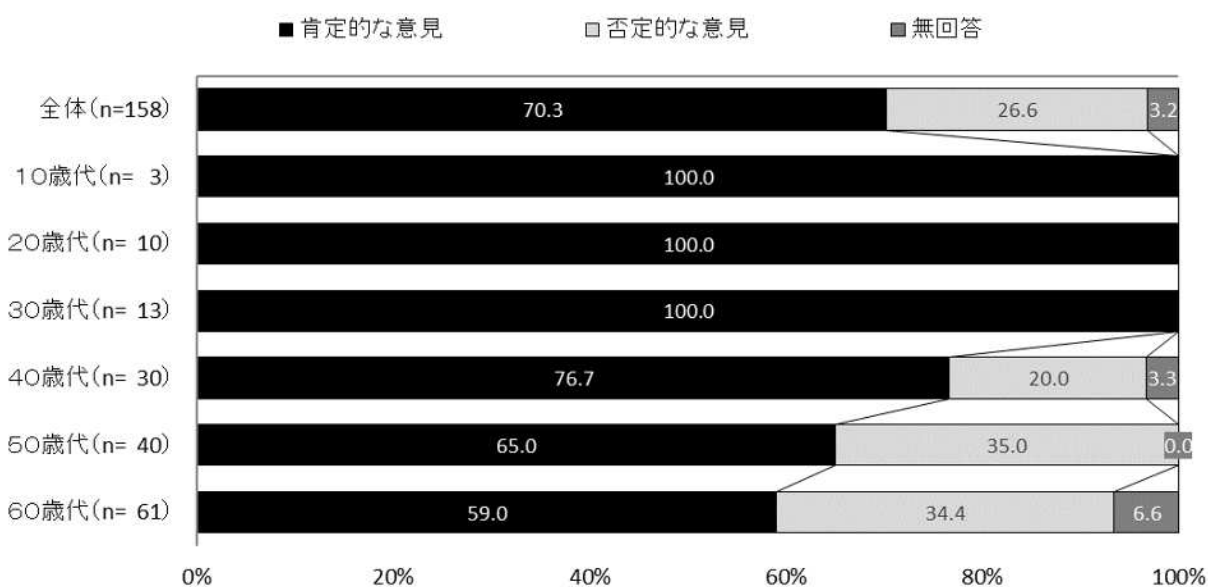
「言葉は知っていたが、意味はしらなかった」と回答した人は、肯定的な意見が 70.3%、否定的な意見が 26.6%となっており、60 歳代の肯定的な意見は 6 割未満ですが、その他の年代は 6 割を超えています。

「知らなかった」と回答した人は、肯定的な意見が 60.6%、否定的な意見が 29.1%となっており、60 歳代の肯定的な意見は 46.3%と最も低くなっています。

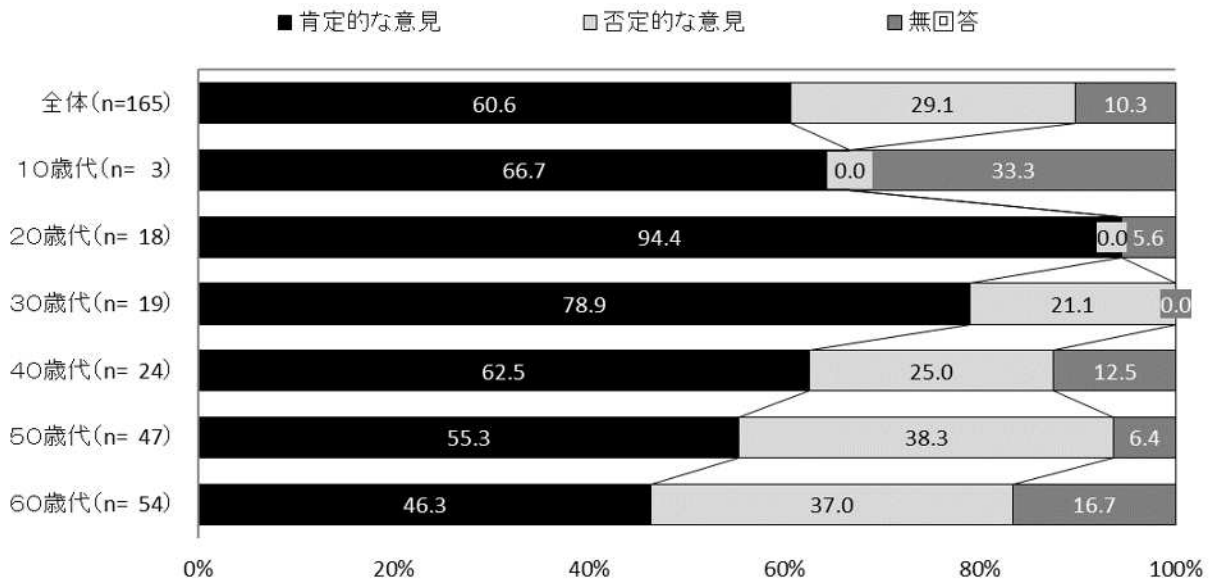
問 13 で「言葉も意味も知っていた」と回答した人



問 13 で「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」と回答した人



問13で「知らなかった」と回答した人



【性別にみた「パートナーシップ制度導入」に関する意見】

性別にみると、女性は肯定的な意見が80.6%、否定的な意見が12.3%となっており、男性は肯定的な意見が69.6%、否定的な意見が24.1%となっています。肯定的な意見は女性の方が11ポイント高く、否定的な意見は男性の方が約12ポイント高くなっています。

